



第33回 日本母乳哺育学会 教育委員会主催勉強会

日時：2025年9月27日（土） 9時00分～12時00分

第39回日本母乳哺育学会学術集会内にて開催

会場：現地開催

つくば国際会議場 茨城県つくば市竹園2丁目20-3

テーマ：周産期から始まるこどもの養育環境について

厚生労働省は、子ども虐待の援助に関する基本事項の中に「マルトリートメント」を取り上げ、大人による子どもへの避けるべき不適切なかかわりを広い意味での虐待と位置付け始めました。では、適切な養育環境とは何でしょうか。いつから始まるのでしょうか。母子にとっての適切な養育環境とは何か、どうすれば適切な支援が出来るのかについて、もう一度原点に戻り、再度考え直してみたいと思います。

開会の辞

総合司会
座長

9時05分～9時10分
まつだこどもクリニック 院長 松田恭寿先生
宇津野医院 院長 宇津野博先生
茅ヶ崎市立病院 小児科 片山暢子先生

【基調講演】

9時10分～10時10分
■ 「妊娠中の母親のメンタルヘルスとその後の児への影響」
藤田医科大学 大学院保健学研究科 教授 毛利彰宏先生

【シンポジウム】 「周産期の養育環境を見直す」 10時10分～11時10分

- 早期皮膚接触 理論編
筑波大学、茨城県立中央病院 小児科 斎藤 誠先生
- 早期皮膚接触 BFHでの実践編
秋葉病院 理事長 秋葉和敬先生
- 母子同室、同床
東京都立荏原病院 小児科 滝 元宏先生

【総合討論】

閉会の辞 次回勉強会開催のご案内

11時15分～11時55分

11時55分～12時00分

申し込み方法

本勉強会は、第39回日本母乳哺育学会学術集会内で開催されます。

第39回日本母乳哺育学会学術集会ホームページ
<https://supportoffice.jp/jsbr39>

2次元バーコードはこちら

